

# 平成22年度

# 決算の概要

問い合わせ先 財政課☎32-2020

## 歳出

市民  
1人  
当たり  
歳出  
約41万円  
(平成22年度末の  
人口を基に計算)

- 歳出決算規模は、前年度比20億8349万円(4・6%)の減
- 職員数の減、退職手当の減少などにより人件費は前年度比5億7752万円(7・1%)の減
- 公共施設のデジタルテレビ整備などの完了により、物件費は1億750万円(2・2%)の減
- 定額給付金の廃止などにより、補助費等は18億358万円(24・3%)の減
- 地域情報化推進事業や新洋学資料館建設事業、バイオマス関係民間事業者支援事業などの大型事業の完了により、普通建設事業は16億8956万円(29・5%)の減

### 性質別

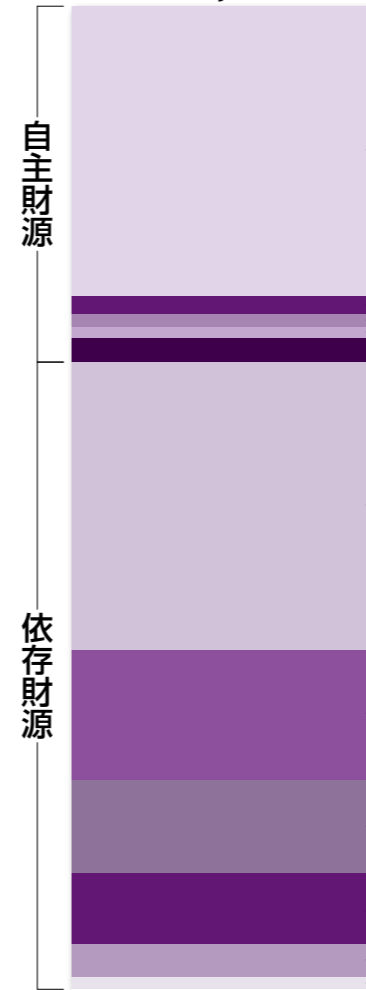
扶助費	89億1,992万円 (20.4%)	生活保護費や児童手当、医療費などに使ったお金
人件費	75億4,438万円 (17.3%)	職員や特別職の給与、議員・各種委員会委員の報酬などに使ったお金
公債費	59億6,416万円 (13.7%)	道路や公共施設などの整備のため借り入れた市債の返済に充てるお金
補助費等	56億1,723万円 (12.9%)	各事業や団体への補助金や負担金に使ったお金
繰出金	49億9,809万円 (11.4%)	国民健康保険や下水道事業などの特別会計へ繰り出したお金
物件費	47億9,937万円 (10.8%)	業務委託料や使用料など物財調達に使ったお金
普通建設事業費	40億4,326万円 (9.3%)	道路や橋、学校、公園などの建設・整備に使ったお金
積立金	7億5,711万円 (1.7%)	地域づくり基金など基金へ積み立てたお金
維持補修費	6億3,711万円 (1.5%)	市の施設などの補修に使ったお金
貸付金	1億7,919万円 (0.4%)	民間団体などに対して必要な資金として貸し付けたお金
災害復旧事業費	1億5,163万円 (0.3%)	大雨などによる農林災害・土木災害の復旧に使ったお金
投資及び出資金	1億2,301万円 (0.3%)	市が行政活動を行ううえで必要な団体へ出資したお金

## 一般会計

歳出  
総額  
436億4,446万円



歳入  
総額  
452億1,493万円



### 自主財源

市税や使用料、手数料など、市が自主的に収入することができる財源

市税	132億6,669万円 (29.4%)	固定資産税 61億9,014万円 市民税 53億6,133万円 都市計画税 7億3,413万円 市たばこ税 7億1,822万円 軽自動車税 2億7,896万円 特別土地保有税 20万円 入湯税 11万円
分担金及び負担金	8億7,183万円 (1.9%)	市が行う事業で特定の利益を受ける人などから徴収するお金
使用料及び手数料	5億9,539万円 (1.3%)	市の施設利用料や住民票、各種証明書などの交付手数料
繰越金	5億1,877万円 (1.1%)	前年度から今年度に持ち越したお金
諸収入ほか	11億3,970万円 (2.5%)	諸収入 8億7,967万円 繰入金 1億6,545万円 寄附金 6,351万円 財産収入 3,107万円

### 依存財源

地方交付税や国・県支出金など、国や県の意思により交付される財源

地方交付税	132億4,999万円 (29.2%)	全国の自治体が同水準の行政を進められるよう、財政運営の均衡を取るために国から交付されるお金
国庫支出金	60億1,617万円 (13.3%)	国が認めた特定の事務事業の実施に国から交付されるお金
市債	42億4,826万円 (9.4%)	国や金融機関から借り入れるお金
県支出金	33億1,919万円 (7.3%)	県が認めた特定の事務事業の実施に県から交付されるお金
利子割交付金ほか	14億7,943万円 (3.3%)	県が徴収した利子に掛かる税金の中から交付されるお金
地方譲与税	5億7,141万円 (1.3%)	国が徴収した税金から一定の基準に従い譲与されるお金

## 歳入

- 歳入決算規模は、前年度比17億1,488万円(3・7%)の減
- 地方交付税は、国の地方財政対策として配分総額の増額と雇用対策・地域資源活用臨時特別費の創設などにより11億6,755万円(9・1%)の増
- 市税は、徴収率が昨年度の92・4%から93・1%に上昇。市民税所得割は3億3,212万円の減となるが、市民税法人税割で4億6,437万円の大幅増となり、全体で53,600万円(0・4%)の微増
- 国庫支出金は、地域活性化交付金・定額給付金の減などにより19億9,602万円(24・9%)の減
- 市債は、地域情報化推進事業や保育所整備事業、退職手当債の減などにより6億8,355万円(13・9%)の減

### 津山家(津山市)の家計簿

医療費や教育費など扶助費	89万円	子どもへの仕送り	50万円	車や家具の修理代	6万円
食費	75万円	光熱水費・日用品の購入	47万円	知人への貸し・投資	3万円
ローンの返済	60万円	家の増改築とエコ家電の購入	40万円	台風による雨漏り修理	2万円
保険料・町内会費・家族への小遣い	56万円	貯金	8万円		
補助費等		積立金			
<b>使ったお金</b>	<b>計</b>	<b>計</b>	<b>436万円</b>		

### 一般会計の決算額(歳入)を年収452万円(月収37万6千円)の家計に例えると...

給料	132万円	貯金の取り崩し	1万円
市税		繰入金	
その他収入(パート収入/不動産収入など)	28万円	実家からの援助	244万円
分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入		地方譲与税、利子割交付金ほか、地方交付税、国庫支出金、県支出金	
前年からの繰り越し	5万円	銀行からの借り入れ(ローン)	42万円
繰越金		市債	
<b>入ってきたお金</b>	<b>計</b>	<b>計</b>	<b>452万円</b>